

## 【磯子区】令和3年第1回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和3年2月5日（金）10時00分～11時40分
場 所	磯子区役所7階 701,702会議室
出席者	<p>【座 長】 加藤 広人 議員</p> <p>【議 員：3名】 太田 正孝 議員、 関 勝則 議員、 山本 尚志 議員</p> <p>【磯子区：27名】 猪俣 宏幸 区長、 佐藤 友也 副区長、 新井 勉 福祉保健センター長、 石井 誠一 福祉保健センター担当部長、 大内 義則 磯子土木事務所長、 ほか関係職員</p>
議 題	<p>議題 令和3年度磯子区個性ある区づくり推進費の予算案について</p> <p>報告事項1 新型コロナウイルス感染症対策に係る地域活動支援等の実施状況について</p> <p>報告事項2 岡村西公園開園について</p>
発言の要旨	<p>議題 令和3年度磯子区個性ある区づくり推進費の予算案について</p> <p>山本議員 ご説明ありがとうございます。このコロナ禍において、大変厳しい区政運営を強られるという状況にあっても、今日説明いただいたとおり、区が区民のために事業を進めていただけることを心強く思います。そこで、いくつか質問をしますのでよろしく願います。まず、「令和3年度磯子区個性ある区づくり推進費の予算案」についてです。区はこれまで以上に地域の皆さんのご意見をお聞きしてきたと思いますので、「新しい生活様式」への対応を含めて、地域からどのようなご意見が出されたのかお伺いしたいと思います。</p> <p>佐藤区政推進課長 4月の緊急事態宣言の際には、新型コロナウイルス感染症についての情報が少なく、地域活動ができない状況でしたが、6月や9月の区づくり推進横浜市議員会議では、「地域活動に何が必要か、どうすれば地域活動ができるのか」といった地域の皆様の声をよく聞いて、できる限りの支援をしてほしい」とのご意見をいただきましたので、区役所では区連会や各地区連合町内会の定例会の場で、地域の皆様にコロナ禍でのお困りごとや必要な支</p>

援を伺ってまいりました。地域の方からは、「地域活動を継続するための情報が欲しい」という意見がありました。また、マスクや非接触型体温計等の入手が難しく、価格が高騰していた時でもありましたので、「行事や会合の際に、参加者の検温を行いたいのので日本メーカーの非接触型体温計を入手したいが、入手が困難である」、「地区社協で行事などを行うためにマスクや非接触アルコールディスペンサーなどが必要だが、高額で負担が大きい」、それから、「WEB 会議に必要な ICT 機器の購入に補助をしてほしい」など「新しい生活様式」に対応して地域活動を行うための支援を求める声を多くいただきました。

山本議員 先ほどの説明の中には、WEB 会議についての説明もありました。区民の皆様の見解を聞くコスモスミーティングという機会がありますが、当然コロナ禍では、そういう会議の実施は難しいわけです。現在では、WEB 会議やリモート会議など、新しい会議の手法が出てきているので、知恵を出して、今後のコスモスミーティングのあり方をもう一度検討しなおしていただきたいと思います。WEB 会議やリモート会議といったものを使って、区長が区民の声を直に聞くような機会も今後は可能性として出てくるものと思いますので、是非そういったこともご検討いただきたいと思います。2つ目の質問ですが、令和3年度の自主企画事業費、統合事務事業費及び区庁舎・区民利用施設管理費ですが、予算配分が令和2年度とほぼ変わっていません。今年度は新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れた一年で、自主企画事業なども感染症対策のために様々な工夫をされてきたと思いますので、次年度予算は、メリハリのある予算配分であっても良いのではないかと思います。そこで、令和3年度予算が令和2年度と同じような予算配分となったのは、何か理由があるのかを教えてくださいたいと思います。

大野総務課長 統合事務事業費は、広報よこはまの発行や住民登録などに係る事務費になります。区庁舎・区民利用施設管理費は、区庁舎・区民利用施設の管理経費になります。これらは、市民局から総額が示されています。ただし、中の内訳を見直して、庁舎の消毒や感染症対策に必要な備品の購入などを行う予定です。自主企画事

業費については、ベースとなる基礎額に人口や高齢化率などの地域特性が加味された金額が市民局から示されているため区で総額の変更は難しいのですが、先ほどの自主企画事業費の説明にもありましたとおり、内訳はコロナウイルスに対応した予算編成としました。なお、市全体に係る医療提供体制などの部分については、局予算で対応しています。

山本議員 ありがとうございます。それでは、「自治会町内会 ICT 利活用事業」について伺います。ICT 利用導入に係る費用の補助や ICT に係る出張講座等を行い、オンラインでの活動情報の共有などを始めとした新しい地域活動の支援をする目的で、新規事業かつ重点事業として行うということですが、この事業に対する自治会町内会での受け止め方を教えてください。自治会町内会によっては温度差もあるものだと思いますけれど、そのあたりについてはどうだったのでしょうか。

大蔭地域振興課長 9月の区づくり推進横浜市議員会議でもご質問いただきましたが、今年度から皆さんのご意見をいただきながら進めてきた事業です。地域の方々の反応ですが、ICT 活用に関するご不安と地域活動の継続へのご要望について、ご意見をいただきました。自治会町内会の役員の皆様はご高齢の方も多いため、「戸惑いを感じている」、「ICT と言われても何だろう、その導入と言われてもわからない」といったお声や「具体的なイメージがわからない、導入しても活用できるかわからない」などのご意見がありました。その一方で、「このままでは地域活動ができないので、工夫が必要なのではないか」というご意見も頂戴しました。その後もなかなか直接お会いできる機会はなかったのですが、できる限りお話を丁寧に伺いましたところ、地区連合ではオンライン会議などを開催したことがないようでした。それを踏まえて、まずは事業の趣旨を丁寧にご説明していくと、「不安はあるけれどもせつかくの機会なのでやってみよう」というお声をいただくようになりました。まずは今年度、補助金を活用して ICT 機器を導入していただき、来年度は出張講座などを通して実際に体験するなど、今年度の事業が来年度にうまくつながる形になればよいと考えているところです。

山本議員 具体的には来年度から行うということですが、費用の補助についての考え方や各連合町内会ごとの金額はどれくらいでしょうか。

大蔭地域振興課長 補助の考え方と金額ですが、対象はパソコンやタブレット、会議などで使う WEB カメラなどの購入、それからインターネットへの接続費用などを考えておまして、1 団体あたり上限 18 万円と考えております。補助率は購入費用の 10 分の 9 です。

山本議員 ありがとうございます。先ほども説明がありましたが、どこもやったことが無いのでそれをどのようにして教えていくのでしょうか。また、例えば区連会などで、区庁舎と各地区とを結ぶなど、そういったこともお考えですか。さらに、連合町内会の中にはいくつもの町内会があるので、もっと広げたいなという団体に対しては追加で補助が出るのかどうか教えてください。

大蔭地域振興課長 地区によって温度差があり、事情も違いますので、個別の状況を丁寧に伺いながら進めていきたいと考えています。追加で補助があるかというご質問ですが、特に別枠では考えてはいませんので、先ほど申し上げたように、1 団体につき 18 万円の上限の中で取り組んでいただくことを想定しています。

山本議員 先日、市民局から予算概要についての説明を受けたときに、出張講座はコロナ禍でなかなか実施ができていない状態だと伺っています。磯子区は 9 連合で行うものかと思いますが、この市民局の出張講座の活用について、どうお考えですか。

大蔭地域振興課長 今年度の市民局の事業でございますが、緊急事態宣言が出たこともあり、残念ながら磯子区で実施に至ったところはございません。9 連合全てからお申込みをいただいていたのですが、市民局からは緊急事態宣言下であるので、実施については待つてほしいと言われております。ただ、来年度の機器の導入と合わせて、支援体制をしっかりとしていきたいと思っております。

山本議員 市民局は 18 区全体で事業を行っているわけですから、磯子区の 9 連合地区が手を挙げたとしても、実際にすべての地区でやっていただけるかどうかわからないので、区が 9 連合地区に対して、市民局のサポートを受けながら先導的に取り組むことも必要ではないかと思っております。プロボノ、ハマボノというのはご存じかと思いますが、できれば磯子区にも若い学生の方や ICT に詳しい方がた

くさんいると思いますので、例えば、そういう方に経験やスキルを生かしていただいて、事業のサポートをしていただくということも可能ではないかと思います。冒頭にもお話がありましたように、地域力を生かす磯子のまちづくりと言うのでしょうか。磯子はやっぱりどこの区よりも、地域力・市民力が強い区だと思っています。新しい発展よりも古い歴史のある区ですから、それだけ市民の方々が、地域の中でしっかり活躍されている区だと思います。是非そういう若い方々やスキルを持った方々を活用して、区としての力を発揮していただくようお願いしたいと思いますが、これらについて、区長に見解を伺いたいと思います。

猪俣区長

ICT の活用ですが、機器の購入補助や出張講座の実施ということでハードとソフトの両面でやっていきます。市民局の事業は、令和3年度へ時期をずらしてでも実行するということですので、連携しながらやっていきたいと思っています。出張講座等の実施については、機器の知識はもちろんですが、高齢の方にどのくらい丁寧にご説明していただけるかというコーディネート力やコミュニケーション力も重要な要素だと思っています。それから、一度にいろいろな機器をご用意していただいて、同時に複数自治会でご要望があるというケースもあろうかと思っています。ご指摘いただいたとおり、ハマボノをはじめとして様々なNPO法人などの団体と協働して事業を行うことは大変意義があると思っていますが、実際には同時期に複数の団体へ対応することや、複数の機器を一度に用意することを考えますと、専門性の観点からも専門業者に委託するのが良いかと思っています。

山本議員

ありがとうございました。よくわかりました。続きまして、「自治会町内会振興事業」について伺います。これまでも、自治会町内会の意向を生かす形で事業を実施してきたと思います。特に、慣れない会計処理や、読みやすい広報活動を支援するための講習会には高い評価があったと思います。また、区連会資料の配送委託などは、少しでも自治会町内会役員の負担を軽減しようとするものだろうと認識しています。しかしながら、自治会町内会振興事業の中には、見直すべきものもあるかと思いません。例えば、自治会町内会会長感謝会の実施形式はわかりません

が、コロナ禍においては、これに関わる費用を見直してはどうかと考えています。また、自治会町内会役員等の表彰についても、見直すべきではないかと思えます。決してスクラップすることがすべて良いことではないですし、やはりモチベーションを上げるという意味でも、残すべき事業かとは思いますが、このコロナ禍では、現在自治会町内会が置かれている様々な状況について、十分皆様のご意見をいただきながら進めてもらえるよう要望したいと思えますが、区長に見解をいただきたいと思えます。

猪俣区長 自治会町内会感謝会と自治会役員の表彰につきましては、地域を支えていただいている皆様へ感謝の気持ちを伝える大変重要な場だと思っています。表彰を受けた皆様からは、「長年やってきてよかった」「励みになった」とのお言葉をいただいています。昨年度の感謝会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきましたが、連合町内会長を訪問する形で表彰を行うなど、様々な工夫をしているところです。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、時期をずらして開催するなど工夫をしていきたいと思っています。今回、費用についてのご指摘もいただきましたので、適切な予算執行を行うとともに、地域の皆様へ感謝の気持ちをお伝えし、また、皆様に喜んでいただけるような効果的な事業になるよう、考えていきたいと思えます。

山本議員 ありがとうございます。是非地域の方と寄り添いながら進めていただけるようお願いしたいと思います。

続いて、新規事業である「バス路線基礎データ調査事業」について質問したいと思います。事業説明にもあったとおり、路線バス事業については利用者の減少や運転手不足に加えて、コロナ禍にあって経営状況も大変厳しく、減便や路線廃止など影響も出てきているところですが、一方で、区民の皆様からは、路線バスの減便に対して、「増便してほしい」あるいは「新たにこういう路線を是非開発してほしい」など様々なご意見もあったかと思えます。これは私の推測ですが、この事業は今の市の現状を精査し、市民の利便性の向上を目指して、市民へバス交通の現状をしっかりと正しくお伝えするという前向きな取り組みの一環としてデータ調

査を行うというものかと思いますので評価をしますが、ただ、この事業を自主企画事業として行うことに違和感を覚えています。区民の皆様の将来的なプラスになるので、調査事業は必要だと思っていますが、自主企画事業の予算を使うのは少し違うのではないかと思います。基礎データはおそらく交通局が持っていると思いますので、交通局としっかり連携して、できるだけ予算を使わないようにしていただくようお願いいたします。できるだけ交通局の予算を引き出して、この調査を進めていただきたいと思います。これも区長に見解をいただきたいと思えます。

猪俣区長

区民の皆様のために利便性の確保が必要という観点から、予算を計上させていただきました。データにつきましては、できるだけ交通局からもらえるように事前に調整します。民間企業のデータについてはなかなか難しいところもありますが、我々職員も様々なデータを活用して、できるだけ費用をかけないような形でやりたいと思っています。交通局からの費用というところですが、現実的には地方公営企業法の適用を受けている事業者なので、交通局が補助するというのは厳しいと思っていますので、データや情報提供など側面協力をお願いし、連携しながらやってまいりたいと思えます。また、さきほど申しましたデータを職員ができるだけ活用するというところですが、専門家の分析も必要かと思えますので委託して行うことを考えています。バス路線の現状をお話しすると、減便が15の系統、廃止が2系統という実情がございますので、今後もこのような話があった際に、我々から道路局や都市整備局、あるいはバス事業者へ話ができるように、意思表示が行えるように、区の実態を調べておきたいと思っています。全市的な対応が求められるということでは、ご指摘いただいたとおり局での対応が必要かと思えますが、区としてはまずは取り組みを関係局にも共有し、これが全市的に良いこととして広がっていくことを期待しています。そういうことで、令和3年度は区で独自に調査させていただきたく、是非ご理解を賜りたいと思えます。

山本議員

交通局と民間バス事業者は日頃から交流を持っているので、交通局は民間バス事業者のデータも持っています。新技術の開発などはオープンイノベーションと言いますか、バス事業者も連携しな

がらやっています。交通局は、京急や相鉄といった企業との人脈もありますので、そういうところも含めて活用されれば、もう少しコスト的にも少なく済むように思いますので、検討をお願いします。それから、先ほど公営交通ということで、予算を使うのはなかなか難しいというお話がありましたけれども、例えば、区提案反映制度はいくつも実現しているので、交通局へしっかりと要望し、協力を得ることも可能なのではないかと思います。

また、先日経済局の予算研究会の中では、商店街の消費喚起策を支援するために、プレミアム付商品券の発行を支援するという話がありました。これは、あくまでも各商店街が独立で主体的に取り組んでいくということになっていますが、例えば、多くの利用者にバスに乗ってもらいたいというのであれば、区が区商連と調整し、商店街と連携するようなキャンペーンを行うよう、交通局へ働きかけることもできるのではないかと思います。私も考えがうまくまとまっておらず具体的なことは言えませんが、例えば、交通局のバスを乗ることによってプレミアム付商品券が提供されるといったスキームを作るなど、様々なやり方があると思います。いずれにせよ、区にはしっかりとサポートしていただくことを要望します。これについて、区長の見解はいかがでしょう。

猪俣区長 今、お話がありました経済局のプレミアム商品券の新事業についてですが、この事業は消費喚起策として商店街が行うプレミアム商品券のプレミアム分と、商品券の印刷デザインなどについて、費用を補助すると伺っています。実施主体は商店街ですので、皆様のご意向を十分確認し、経済局や交通局に情報共有して、意見を交換しながら進めていきたいと思っています。

山本議員 それでは、その部分につきましては区商連とも調整していただきたいと思います。

次の質問ですが、2019年1月から上笹下地区において、買い物支援サービスが行われています。これは、ローソン栗木店さんの協力によって行われていると思いますが、現状はどうなっているのかお聞かせいただきたいと思います。

佐藤区政推進課長 上笹下地区におけるローソンさんの移動販売ですが、もともと、「買い物困難という課題を解決したい」という地域の声と、

ローソン栗木一丁目店の店長さんの「採算のためではなく、地域の方への恩返しをしたい」との思いを区役所がつなぎ、上笹下連合町内会の主催によりスタートしたものです。令和2年の3月から9月までは、新型コロナウイルス感染症の影響により、休止をしていました。10月からは再開しましたが、休止期間の前後で1回あたりの売り上げが約10%、利用者が約20%マイナスになっていると伺っています。区は随時、ローソンと地区連合町内会、区社会福祉協議会、地域ケアプラザと現状や課題を共有していただき、利用者の方からは「移動販売が来るのを楽しみにしている」という声などが寄せられていると伺っております。一方で、「移動販売の車から流れる音楽が騒がしい」といったご意見が寄せられるなど、移動販売が地域課題の解決のために実施されていることが住民の皆様にも浸透しておらず、地域全体での盛り上がりには至っていないということがあります。

山本議員 今、お話があったように、地域から様々なご意見が寄せられているということですが、こういう声は連合自治会の役員の方にとっては大変大きな課題だと思います。せっかくローソンさんに協力していただいているにも関わらず、それが地域の中では正しく評価されておらず、なかなか売り上げも達成できない、ガソリン代もかかるということですから、こういう地域貢献をしている事業者さんをサポートすることも大事なのではないかと思います。見解をお伺いします。

佐藤区政推進課長 おっしゃるとおり主催である連合町内会もそういう状況を何とかしたいと思っていますので、令和元年度から、ローソン、地区連合町内会、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、区役所で「上笹下地区買い物支援連絡会」を立ち上げました。この連絡会では、現状や課題を共有し、移動販売の実施場所の見直しなどを行っています。区役所としては地域の皆様と協力して移動販売が地域課題の解決のために行われていることを根気強く周知していくなど、引き続き側面支援をしてまいります。また、令和2年10月からは、杉田地区にもセブンイレブンさんによる移動販売が始まっております。こちらとも情報を共有しながら、移動販売の継続に取り組んでいきたいと思っています。ローソンの店長さんは「お

世話になった地域への恩返しを」と非常に強い思いでやっていますしやいますので、それにこたえられるよう引き続き関係者で支援を続けていきたいと思ひます。

山本議員 磯子区は超高齢社会の地区でもありますし、先ほどの買い物支援サービスも様々な方の協力によって成り立っているのですから、これからはいろいろな方々の声を大事にしながら、進めていただきますようお願いしたいと思ひます。

最後に1点、杉田6丁目から8丁目の地域課題についてお伺ひしたいと思ひます。どのような認識をお持ちでしょうか。様々な課題がありますが、交通面についての課題がありましたら教えてください。

佐藤区政推進課長 こちらの地域課題につきましては、高齢化と買い物困難であると考えています。その理由として、この地区は今年度の高齢化率が合計で32.6%ということで、磯子区の平均を約5%上回っています。中でも杉田7丁目は42.4%と、磯子区内で一番高くなっています。杉田地区には急な坂が多く、近くに店舗が少ないとの理由から、買い物が困難であるという声が上がっております。これに対しては、杉田地区社会福祉協議会の下部組織として、「杉田地区買い物支援倶楽部」が立ち上げられまして、杉田地区連合町内会、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所で連携しまして、セブンイレブン杉田三丁目店さんによる移動販売が実現しました。区は、この移動販売が継続・発展していくよう、支援を行っていきたくて考えています。

山本議員 ありがとうございます。これに関連してなのですが、金沢区の京急富岡駅西側エリアにおきまして、京浜急行電鉄さんが移動支援を行う乗合型移送サービスの実証実験を行っています。「とみおか一と」という通称で現在実証実験中でして、今年是有償の実証実験を行うということだそうです。実証実験が行われているのは区境で、実施については、富岡駅西側エリアをカバーしている京急タクシーが中心になっていますが、この区境より先が杉田6丁目から8丁目のエリアですので、杉田のこれらの地区も、乗合型移送サービスができるのではないかと考えています。このあたりについては、都市整備局が所管していますが、都市整備局と連携

しながら、杉田6丁目から8丁目の地域課題、交通課題の解決に向けて、このようなサービスの提供が可能なのかについて、区としても考えていただければと思うのですが、区長の見解をお願いします。

猪俣区長 今、お話がございました「とみおかーと」でございますが、京急さんと横浜市がまちづくりの連携協定を結んで行っており、実証実験は今年で3年目です。1年目や2年目は、20日、36日と少し短かったのですが、今年は52日間の無償での実験と、48日間の有償での実験を行っています。私の承知している範囲ではそういう経緯があつて、京急さん、日産さん、それから横浜国大さん、それから横浜市都市整備局と金沢区がそういった知見も含めて、まさに実験をしているところですので、我々はその結果を確認した上で、磯子区でも実施可能かというところを研究していきたいと思っています。

山本議員 ありがとうございます。

関議員 私からは、簡潔に5点ほど確認したいと思います。まず「バス路線基礎データ調査事業」ですが、少し前までの区民意識調査や市民意識調査などでは、交通機関に対しての満足度は確か高い方だったと思います。でも、先ほどの15路線の減、2路線の廃止という話を聞くと、いよいよ現状が区民のニーズから離れていってしまうのではないかということを感じます。この超高齢社会に向かう中では何とかしなければいけないということで、この前回、前々回あたりの会議でも私からコミュニティバスについての磯子区の現状をお伺いしたように思います。さきほどお隣の金沢区の状況についての話がありましたけれども、私の身近なところでもやはり減便していますが、それでもバスが走っているだけまだ良いと思っています。ただ、この廃止された2路線の地域は、今後どうするのでしょうか。移動手段がだんだん無くなっていく中では、コミュニティバスについてももう少し支援をする必要があると思います。私も金沢区の片吹地区を視察させていただきましたけれども、地域の方々は、一生懸命バスに乗っているのです。地域の方々の協力も必要ではありますが、是非この新規事業で正確なニーズをキャッチしていただいて、引き続き、最近よく「持続可能な」

と言われますけれども、地域の発展に向けて区役所一丸となってご協力いただければと思います。これについては、強く要望します。よろしく申し上げます。2点目は自治会町内会振興事業についての質問です。掲示板の設置については、確か2か年から3か年くらいやっているかと思いますが、毎年の掲示板設置についての予算額と、現在までどれくらい建てられたかというのがわかりましたら、教えていただけたらと思います。

大蔭地域振興課長 掲示板でございますが、現在地域に建てられている件数としては1,115基でございます。この掲示板の補助がスタートしたのは平成29年度なのですが、1,115基のうちの補助件数などは、後ほど確認してお答えさせていただきます。

関議員 ありがとうございます。自治会町内会の振興事業については、区長会などで情報交換していると思うのですが、この掲示板設置の事業は磯子区独自ですか。他の区でもやっていますか。

大蔭地域振興課長 現在では、磯子区を含めて6区で行われているようです。

関議員 ありがとうございます。それから、3点目の質問は「区の魅力創出・発信事業」についてです。資料に「区外からの誘客を促します」とありますが、これは本当に大事なことだと思います。予算研究会の中でも話が出ていたのですが、コロナ禍の影響があるのかわかりませんが、確か東京の転入超過の数字は下がって来ていて、逆に、東京から出て横浜を目指してくる方々はだんだん多くなってきているような感覚を持っています。これをチャンスとして捉えると、大切なのはPRなのです。私もたまに、新しく移り住んできた方へ「どうして磯子区に引っ越して来られたのですか」と聞くのですが、「磯子区には明るいイメージがある」とおっしゃるのです。これもとても大事なことだと思います。そこで、今日の資料を見たときに、「スタイリッシュなホームページ」とあったのでお聞きするのですが、スタイリッシュというのは、どういった感じに作ることを考えているのか、お聞かせいただけますか。

猪俣区長 磯子区には、今お話しいただいた「明るいまち」というイメージがあります。また、物理的な話ですが海もございますし、自然も豊かです。そういったところをわかりやすく、特に写真などを多用して、目でも訴えられるようにしたいと思っています。お住ま

いの移動という観点では、子育て世代の方々がターゲットになるかと思っています。そういう方に見ていただいて、「磯子区ってこんなまちなんだ」ということを感じていただけるようなものを作成したいと思っています。見やすいという意味でスタイリッシュと考えています。地域に伺いますと、中原の上と言いますか、杉田の上の方へ行くと「こんなところから海が見えるんだ」というところがあります。それから、洋光台へ行って住宅の上の方から見ると、開けた感じでまちを見ることができる場所もあります。私も地域にお邪魔する中で発見しましたので、各地区のそういった見どころを、皆様にご紹介することも出来るのではないかと思います。今、まさに企画を進めているところです。

関議員

ありがとうございます。新年度はスタイリッシュな磯子区に期待したいと思います。1つ情報提供ですけれども、松ノ内公園は「関東の富士見百景」として、磯子区で唯一選ばれている場所です。富士山はよく見えるし、初日の出のスポットでもあるので、情報提供させていただきます。引き続き、よろしくお願ひします。それと、災害についてですが、実は特別自治市の大綱が、8年ぶりの改訂を迎えています。今、大阪都構想も含めて千載一遇のチャンスというか、区民の方へどんなメリットがあるのかをうたっていくためには、今の時期は非常に大事だと捉えています。昨年末、久しぶりに神奈川県、横浜、川崎、相模原の政令市と県で調整会議が開かれたのですが、その中で二重行政の解消がやはり議論として挙がっていて、今、県が持っているコンビナートの許認可権限の移譲についても話し合われました。当然ながら、有事の際は横浜市消防に活躍していただかなければいけないので、やはりすべてを関連づけて、いろんなところと連携していかなければならないと思っています。これはどうも具体的に話が進みそうなのでお聞きしたいのですが、磯子区が区の災害対策本部を立ち上げる中で、例えば、湾岸部のエネオスさんも含めて、日々どういった連携を取られているか、教えていただければと思います。

猪俣区長

個別というわけではないのですが、磯子区に事業会がございまして、事業会の中でエネオスの方とも連携しております。それから、区の事業評価委員会がありまして、そこには委員としてエネオス

の副所長に参加していただくなど、日ごろからお付き合いがごさいます。事業評価委員会では、区の状況をご説明しますので、私としてはエネオスさんとは、顔の見える関係を作っていると考えています。また、消防の方は災害対策のために、自主消防隊と言うのでしょうか、エネオスさんとも密に連携しています。時々、臭いがした、煙がでたといったという話もありますが、その際は逐次消防とエネオスさんでそういった環境への影響に関わる情報交換を行っていますので、こちらも日ごろから関係ができていのではないかと考えています。

関議員

ありがとうございます。これから議論を進めていき、この二重行政をひとつひとつ解決していく必要があると思っています。また、新型コロナウイルス感染症についてもメインで対応していくのは県ですが、それをどんどん政令市へということで、この大都市制度はこれからテーマになっていくかと思っています。そんな流れの中では、地域や住民自治の強化ということで区役所の役割も大きくなっていくと思いますので、引き続き、地域との連携を強化していただけたらと思いますし、災害時の連携にも引き続き取り組んでいただきたいと思います。

また、引き続き京急杉田駅周辺の自転車について、どうぞよろしくをお願いします。スペースを見る限り、本当にこれからどうしようかと思っています。ただ、こういう状況の中で自転車は、交通手段として大いにクローズアップされてくると思いますから、是非ご支援いただきますようによろしくをお願いします。

それから、最後の質問ですが、区役所へ入ってくる時に、「マイナンバーカードの発行窓口は2階です」と書いてありました。このところ、私も2階へお邪魔する機会があったのでよく見てみると、マイナポイントを紹介するブースも2席設けられていました。マイナンバーカードを令和4年度までにという目標を掲げながら、各区で取り組まれていると思うのですが、マイナンバーカードの発行については、現在どのような対応をされているのでしょうか。今、カードを申請すると、どのくらいの期間で発行までいけるのかということや、今日の資料には無いようですが、これらの予算はどこから出ているのかなどをお聞かせいただければと思いま

す。

野村戸籍課長 まず、マイナンバーカードの発行体制についてですが、申請か受け取りのいずれかの時に区役所へ来ていただく必要があるのですが、今は横浜駅にも臨時の申請窓口がございますので、そちらをご利用いただければ休日や平日夜間でもお手続きをしていただけます。それから、発行の状況ですが、磯子区のマイナンバーカード交付数は約5万枚、その普及率は人口比で29.8%でして、これは市内第3位です。予算につきましては基本的には国費が充当されておりますので、人件費や窓口の増設についても国費で賄っています。また、横浜市のカードの交付数は約102万枚で、普及率につきましては27.2%です。

関議員 やはり上がってきているのですね。実は、横浜駅前の窓口にも行ってきたのですが、人は増えているようでした。増えている理由としては、マイナンバーカードが無いとワクチンが打てないのではないかという不安から、お見えになる方が多いということでした。カードを作成していただきたいのはやまやまですが、そういった誤解が無いように、是非窓口でもお話しいたきたいと思えます。それから、これは残念だったことですが、私の隣で高齢の方がカード作っていて、写真持ち込んだのは良いのですが持ち込まれたスナップ写真に背景があったようで使えず、せっかく写真を持ってきたのに撮り直さなければいけないということでもちよっとした口論になっていたようでした。区役所の窓口はそういうご案内についても強いところがあると思いますので、きちんとPRをしながら、これからもカードの普及に努めていただければと思います。また、市民局の予算では、横浜駅に引き続いてあと2か所くらい窓口を増やすような話も聞きました。申請窓口を交付窓口にするとはどういうことなのか教えていただけますか。

野村戸籍課長 今、政府が令和4年度末までにマイナンバーカードを取得しましょうという啓発をしていますが、申請についてはオンラインや郵送がほぼほぼ9割を超えている状況です。一方、端末への暗証番号の入力や本人確認などに時間がかかっている状況ですので、申請窓口ではなくて、受け取り窓口の方に力を入れていこうとしているところです。こういった状況から、横浜駅については

申請窓口を交付窓口に切り替えるということですが、来年度、再来年度に向けては、横浜駅の窓口の切り替えに合わせて、プラス3か所の窓口開設が予定されています。

関議員 ありがとうございます。私も一生懸命啓発していきたいと思いますので、引き続き区役所でも連携していただきたいと思います。

太田議員 「地域防災土のう置場設置事業」ですが、これは、土のうですか。それとも土のうの袋もありますか。

石島土木事務所副所長 来年度も土のうステーションを設置していくのですが、箱の設置と合わせて土のうを80個くらい置きます。設置場所については、地域の状況を踏まえて調節しながら設置していこうと考えています。

太田議員 つまり、砂の入ったものを80個くらい置きますということですか。砂の入っていない袋は置かないのですか。

石島土木事務所副所長 ステーションには、砂の入ったものを置くことを考えています。袋につきましては、必要があれば土木事務所から地域の方にお配りすることもできます。

太田議員 土のうそのものが欲しいという区民がいたときに、お持ちすることもあるのですか。

石島土木事務所副所長 基本的には、地域の土のうステーションから必要な数をお持ちいただきたいと思いますのですが、全ての地区に設置しているわけではありませんので、少しまとまった数量であればお届けすることもできます。全ての区民の方にお配りすることはできませんが、ケースによっては調整させていただきたいと思います。

太田議員 土のうの袋に自分で詰めるという方もいると思いますので、土のうステーションには、袋も置いた方がよいと思います。もちろん砂が良いと思いますが、土を入れて土のうを作る方もいるでしょう。できればですが、袋も置いていただくことを要望します。

石島土木事務所副所長 わかりました。飛散防止対策なども検討しながら、対応を考えていきます。

太田議員 バス路線についての基礎データ調査は良いのですが、浜中学校から、京浜急行杉田駅に至る道の右側に郵便局がありますが、その郵便局のところにはバス停が無いのです。昔は浜中学校のところ

を入ったところに郵便局がありましたが、無くなってしまったので皆さん困っています。基礎データ調査のことでありませんが、バス停を作っていただけませんか。「郵便局に行きたくても行けないので、バス停を作ってもらいたい」という要望がお年寄りの方から結構ありますので、検討していただければと思います。そして、検討した結果を教えてください。まだ言っていませんが、このことは交通局へも言うつもりです。

加藤議員 土のうステーションですが、これはうちの団からも区づくり会議で取り上げて、本当に頑張ったねと一言伝えて欲しいということでした。全市で10か所のうち、5か所が磯子区ですから、本当に磯子土木はすごいと思います。土のうづくりの実演もやっていると思いますが、これは防災訓練の時などに行うのですか。

石島土木事務所副所長 これは講座形式でして、土木事務所にお声をかけていただいた自治会町内会さんへ出向いて、土のうの作り方や活用の仕方などをお教えしています。また、この講座で作った土のうは、地域でそのまま使っていただけるようお渡ししています。今年度はなかなか地域の皆さんと関わることができず、講座も多く開催することはできなかったのですが、地域からの要請があれば今年度もまだ対応していきますので、何かあればお声掛けください。

加藤議員 先ほども太田議員からありましたが、土のう袋は地域に置けるようなところがあれば、置くということではなかったのですか。

石島土木事務所副所長 昨年度は台風がかなり接近して、地域からの土のうの利用希望が多かったので、皆さんがわざわざ土のうを取りに来なくてもいいようにということで、地域に配置した土のうステーションの中に土のうを置いたという経緯がありました。地域で砂や土を入れていくというお話がありましたら、土のうの袋についても置けるように検討していきたいと思います。

加藤議員 是非、実現をしていただきたいと思います。防災備蓄庫だと取り出すのが大変なので、工夫をしていただけたらと思います。また、「出生を祝う事業」の手形・足型プレゼントですが、この事業は本当に嬉しいし、良い話だと思いました。今年度の対象者は何人くらいいるのですか。

森山こども家庭支援課担当課長 今年度は、現時点で 30 名の方に参加していただいています。昨年度は、181 名の方に参加していただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、事業が 7 月からの開催となったことに加え、再度、緊急事態宣言が発令されましたので、実績も少なくなっています。

加藤議員 最後に「バス路線基礎データ調査事業」ですが、山本議員も関議員も本当に磯子の地域の足について危惧をされていて、なんとかしていききたいという思いから、様々な質問をされたものだと思います。これは要望なのですが、調査結果が出たらいち早く私達にご報告をお願いします。私達もそれを基に協力し合いながら、この問題にしっかりと取り組んでいきたいと思います。

#### 報告事項 1 新型コロナウイルス感染症対策に係る地域活動支援等の実施状況について

山本議員 この報告事項についての質問などは特にはありませんけれども、新型コロナウイルスのワクチン接種について、地域の皆様からいろいろとご質問を受けています。接種会場など、準備はまだこれからかと思いますが、わかり次第ご報告いただけるようお願いいたします。

加藤議員 今、どういう状況なのか教えていただけますか。

猪俣区長 現時点では情報が少ないのですが、まずは高齢者の方に迅速にワクチン接種を行うため、局と連携しながら準備を進めているところです。我々にも情報が入り次第、議員の皆様にもご報告するとともに、区民の皆様へわかりやすく広報しなければならないと思っています。例えば、広報よこはまやホームページを活用するなど、できるだけ迅速にお知らせできるよう準備していきます。

加藤議員 誤った情報が独り歩きしてしまうといけないので、正確に、かつ迅速にお知らせいただくようお願いします。

報告事項2 岡村西公園開園について

関議員 平面図の外周に車のマークがあるのはバス停ですか。

鈴木公園緑地整備課長 そうです。バス停は3か所あり、中央上、左側、右下にあるマークは、バス停の位置を示しています。

関議員 この公園に、磯子区の方がバスを利用して行くことはできますか。

佐藤区政推進課長 ここには市営219系統の小型バスが運行しています。バスは弘明寺駅を出発し、公園の外周を通ってまた弘明寺に戻る路線と、弘明寺駅から南区のみつが丘まで行く路線があります。

関議員 ありがとうございます。つまり、磯子区内の駅からのバス運行は残念ながら無く、あとは徒歩で行っていただくということですね。

加藤議員 一つ心配なのは、ここは坂の上で道路も狭いので行くとしたら車で行くしかないと思うのですが、今後は違法駐車が問題になりそうです。地元からそういった声はありませんか。

佐藤区政推進課長 車で行きたいが駐車場はないのかというご意見が、平成30年度の地元の方との意見交換会で出たことは事実です。ただ、この規模の公園には駐車場は作らないことになっていますので、駐車場を作ってもらいたいというご意見は反映できませんでした。駐輪場はあります。

加藤議員：駐車場を中途半端に作ると皆さん車で行ってしまっって、かえって逆効果だと思います。ただ、よく周知はしておいて下さい。  
また、鈴木課長へお聞きしますが、これは南区でも同じように説明をしているのですか。

鈴木公園緑地整備課長 南区においても、公園を整備する段階から同じような情報提供をしていきましたので、公園の完成についても、これから情報提供をさせていただこうと思っています。

先ほどお話がありました車の件についての補足ですが、こちらの公園は、主に半径500メートルぐらいのところにお住まいの方々にご利用いただくことを想定して作っています。ただ、やはり新しく公園ができたということで、もしかしたら一時は車利用の方がいらっしゃるかもしれませんが、土木事務所へ引き継ぎながら、近隣の皆様に気持ちよくご利用いただけるように情報提供をしていきたいと思っています。

備 考	<u>その他</u> <特になし>
-----	-------------------